

令和4年度 第1回 介護・医療連携推進会議開催について

関係者各位

令和5年1月27日

定期巡回・随時対応サービスひのき大泉学園 管理者 前野浪子

拝啓 時下いよいよご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和4年度第1回 介護・医療連携推進会議を、下記要領にて開催いたします。

今回の推進会議につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、書面にての開催といたします。

別紙の書面を、当事業所宛に2月3日(金)必着でご返信くださいますようお願い申し上げます。
なお、2月10日(金)に集計し、改めて結果をお知らせ致します。

敬具

記

令和4年度第1回 定期巡回・随時対応サービス ひのき大泉学園 介護・医療連携推進会議

- 開催日時 (予定) 令和4年12月20日
代替措置を行った日 令和5年1月26日(書面送付日)
〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町5-29-10
TEL:03-5933-0177 FAX:03-5933-0178

1) 活動報告<別紙>

- ・利用者の推移
- ・随時コールの回数・主な内容
- ・随時訪問の回数・主な内容
- ・在宅看取りの件数
- ・連携状況
- ・定期巡回サービスの周知活動
- ・人事報告

2) 介護・医療連携推進会議構成員からの要望・助言

3) 次回介護・医療連携推進会議の予定について

【令和5年度第1回介護・医療連携推進会議】

次回令和5年7月開催予定

以上

<別紙>

1) 活動報告

利用者推移

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
要介護1	1人	1人	1人	1人	1人	1人
要介護2				1人	1人	1人
要介護3				1人		1人
要介護4				1人	1人	1人
要介護5	1人	1人				
合計	2人	2人	1人	4人	3人	4人

随時コールの回数・主な内容

7月	8月	9月	10月	11月	12月
19回	5回	23回	50回	30回	2回

- ・不安の訴え
- ・訪問時間の確認

随時訪問の回数・主な内容

7月	8月	9月	10月	11月	12月
2回	5回	6回	6回	2回	3回

- ・排泄介助
- ・転倒
- ・体調不良

在宅看取りの件数

7月	8月	9月	10月	11月	12月
					1件

連携状況

連携先訪問看護ステーション数 . . . 7件

定期巡回サービスの周知活動

月2回、FAXを利用し居宅介護支援事業所に周知
随時、居宅支援事業所に訪問し営業活動

人事報告

令和4年7月より開所し、当初10名（常勤9名非常勤1名）のオペレーターと事業所内の訪問介護員で対応していたが、1月現在では13名（常勤11名非常勤2名）のオペレーター体制となり、訪問介護と連携し利用者様への対応を行っています。

書面回答書

定期巡回・随時対応サービス ひのき大泉学園 頭紙不要

FAX : 03-5933-0178

記入日 令和 年 月 日

事業所名

ご担当者様名

定期巡回・随時対応サービス ひのき大泉学園について、どんなことでも差し支えございません。ご意見お待ちしております。

【意見】（ご意見・ご要望がありましたらお書きください。）

2月3日（金）までに FAX にてご返送ください

令和4年度 第1回 定期巡回・随時対応サービスひのき大泉学園

介護・医療連携推進会議 議事録

令和4年度第1回介護・医療連携推進会議について、新型コロナウイルス感染防止のため、開催を延期していたが、この度開催を自粛し書面開催による代替措置を行った。

- 開催日時（予定） 令和4年12月20日
- 代替措置を行った日 令和5年1月26日（書面送付日）
- 議事録送付日 令和5年2月10日

■書面送付先

居宅介護支援事業者	4名	区職員	1名
利用者	1名	包括職員	1名
家族	1名	有識者	0名
住民代表	1名	医療関係者	2名

■書面返答

居宅介護支援事業者	1名	区職員	1名
利用者	0名	包括職員	1名
家族	1名	有識者	0名
住民代表	1名	医療関係者	2名

■議題

- 1) 活動報告
- 2) 介護・医療連携推進会議構成員からの要望・助言・質問<別紙>
- 3) 次回介護・医療連携推進会議の予定について
【令和5年度第1回介護・医療連携推進会議】
次回令和5年7月 開催予定

以上

<別紙>

■ご意見・ご要望

・急なお願いや、サービス継続が困難な事例等、丁寧な説明や対応で利用者の方も安心してサービスを受けることができたようです。末期の対応などは連携が必要で日々変化していきますが、これからもチームとしてご一緒できれば心強いです。今後、事例数を積み重ねていかれると思いますが、その際は「こんなケースでこんな対応をしたら生活が、介護がこう変わった！」というような成功事例を伺う機会を作っていただけるとありがたいです。

・具体的な成功事例・困難事例を共有することで、今後さらに展開が広がるのではと思いました。

・このサービスは、毎日短時間・複数回訪問することにより、利用者様の生活全体を見守ることができ、住み慣れた自宅で一日でも長く生活することができる可能性を高める重要な役割を担うサービスだと思います。ですがまだ「十分な情報がない」とする地域住民の方が多いのではないかと感じます。普及促進活動は、時間もエネルギーもかかる事だと思います。このサービスを盛り上げていくためには、多職種の方々、地域の皆様と協働・連携することが不可欠なので協力していければと思います。

・定期巡回のサービスは利用希望者の方々にとって大変心強いサービスです。

■ご質問

・Q 夜間帯のコール数はどれくらいありますか？

A

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
随時コール回数	19回	5回	23回	50回	30回	2回
(うち夜間回数)	(5回)	(3回)	(9回)	(15回)	(7回)	(1回)

・Q 訪問診療との連携は、どのような状況ですか？

A 現在、3医療機関と必要時に連携を取りながらサービスを行っております。